

ID	受理日	番号	申請者	製品名	生物由来成分	原料名	産産国	有効成分	有	無	無	無	感染症 (PT)	出典	概要
													新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360: 2605-2615	90473に同じ
314	2009/11/6	90722	大洋薬品工業	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタ	中国	有効成分	有	無	無		インフルエンザ	Journal of General of Medicine 2009; 90: 900-908	90721に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360: 2605-2615	90473に同じ
315	2009/11/16	90723	富士フィルムRIファーマ	テクネチウム人血清アルブミン(^{99m} Tc)	テクネチウム人血清アルブミン(^{99m} Tc)	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無		ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
													HIV	Nature Medicine 2009; 15: 871-872	90636に同じ
316	2009/11/17	90724	ワイズ	ポルフィマーナトリウム	ポルフィマーナトリウム	ブタ血液	オランダ	有効成分	無	無	無				
317	2009/11/18	90725	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人活性化プロテインC	プロテインC	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無		細菌感染	日本細菌学会第82回総会 (2009 March 12,13,14)	90498に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	厚生労働省 新型インフルエンザに関する報道発表資料 2009 May 16	90498に同じ
318	2009/11/18	90726	化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン	ブタ胃粘膜	米国、カナダ	製造工程	有	無	無		新型インフルエンザ (H1N1)	農林水産省 新型インフルエンザに関する報道発表資料 2009 October 21	2009年10月21日、農林水産省は大阪府の養豚農場のブタから分離されたウイルスが新型インフルエンザであることを発表し、当該農場に対し、臨床検査および遺伝子検査により異常がないことを確認するまで飼育ブタの移動を自粛するよう要請した。(独)農研機構動物衛生研究所がHおよびN亜型検査(遺伝子解析)を実施した結果、本ウイルスはH1N1亜型であり、新型インフルエンザと同一である事を確認した。
319	2009/11/20	90727	サノフィ・アベンティス	エノキサパリンナトリウム	ヘパリンベンジルエステル	ブタ腸粘膜	アメリカ、カナダ、フランス、ドイツ、ベルギー、オランダ及びオーストリア	有効成分	有	無	無		新型インフルエンザ (H1N1)	ProMED-mail 20090723.2603	カナダCFIAの検査員2名が、2009年4月下旬にAlbertaのブタにおけるインフルエンザアウトブレイクについて調査中にブタインフルエンザA/H1N1に感染したことが発覚した。カナダにおける最初の新型インフルエンザ感染例である。

ID	受理日	番号	報告者名	製品名	原料名	製造国	有効成分	有	無	無	無	承認申請状況	出典	概要	
329	2009/11/26	90737	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	人血液	日本	有効成分	有	無	無	無	新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
													パルボウィルス	FDA/CBER Guidance for Industry 2009 July	90523に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96; 270	90527に同じ
330	2009/11/26	90738	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	人血液	米国	有効成分	有	無	無	無	新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
													パルボウィルス	FDA/CBER Guidance for Industry 2009 July	90523に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96; 270	90527に同じ
331	2009/11/26	90739	大塚製薬	インターフェロンガンマ-n1	インターフェロンガンマ-n1	ヒトミエロモノサイト細胞株	アメリカ	有効成分	無	無	無	無			
332	2009/11/26	90740	大塚製薬	インターフェロンガンマ-n1	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	添加物	無	無	無	無			
333	2009/11/26	90741	大塚製薬	インターフェロンガンマ-n1	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無	無			
334	2009/11/26	90742	大塚製薬	インターフェロンガンマ-n1	抗IFN- γ モノクローナル抗体	マウスハイブリドーマ	イギリス	製造工程	無	無	無	無			
335	2009/11/26	90743	大塚製薬	インターフェロンガンマ-n1	ハムスター(ヒトミエロモノサイト細胞を皮下で増殖)	ハムスター	日本	製造工程	無	無	無	無			

ID	登録日	承認番号	製薬会社	成分	原料	製造国	製造工程	有効成分	有	無	無	副作用	出典	概要
336	2009/11/26	90744	大塚製薬	インターフェロンガンマ-n1	抗ハムスター胸腺細胞ウサギ抗血清	ウサギ血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
337	2009/11/26	90745	ベネシス	トロンピン	人血液	日本	有効成分	有	無	無				
												細菌感染	日本細菌学雑誌 2009; 64; 220	90527に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	Science 2009; 10.1126/SCIENCE .1176062	90527に同じ
												リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24	90527に同じ
												ウイルス感染	N Engl J Med 2009; 360; 2099- 2107	90505に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA 2009 May 22	90527に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMRW 2009; 58: 521-524	90527に同じ
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009 June 5	90527に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA/TSE advisory committee 2009 June 16	90527に同じ

ID	発症日	年齢	性別	職業	居住地	滞在国	滞在期間	発症場所	発症時期	病名	出典	概要
										アメリカトリパノソーマ症	FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma cruzi Infection in	90527に同じ
										新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; 773-778	90527に同じ
										パルボウイルス	Transfusion (Malden) 2009; 49: 1488-1492	90527に同じ
										HIV	Nature Medicine 2009; 15: 871-872	90636に同じ
										マラリア	Clinical Infection Deiseases 2009; 49; 852-860	ヒトにおけるPlasmodium knowlesi感染の臨床的な特徴および検査結果を調べる目的で、急性P. knowlesi感染患者の背景と経過について系統的に調べ、2006年7月-2008年2月に、Kapit病院でPCRにより急性マラリアと確定された、治療歴の無い非妊娠成人から臨床データおよび検査結果を収集した。152例のうち、P.knowlesi、P.falciparumもしくはP.vivaxに感染した症例は107(70%)、24(16%)および21(14%)であり、非特異的発熱症状のあるP.knowlesi感染患者の入院時寄生虫値の中央値は1387parasite/ulであり、全例が血小板減少を示した。ほとんどのP.knowlesi感染患者には合併症はなく、クロロキンおよびプリマキン治療で治癒した。WHOの熱帯性マラリアの判断基準により7人は重症であった。入院時のP.knowlesi寄生虫血症は呼吸困難の独立した決定因子であり、入院時の血清クレアチニンレベル、血清ビリルビンおよび血小板数と同様であった。2例のP.knowlesi感染患者が死亡し、死亡率は1.8%(95%信頼区間、0.2-6.6%)であった。P.knowlesiは広範囲の疾病を引き起こすが、多くの場合合併症伴わず、治療に速やかに反応し、約10人に1人が死亡を伴う合併症となる。
										新型インフルエンザ(H1N1)	The Canadian Press 2009 September 16	オーストラリアの研究グループは新型A1N1ウイルスに感染し重症となった妊婦では、ウイルスと戦い、体がワクチンに反応する助けとなる、特定の抗体が低値である事を発見した。ICUで治療中のブタインフルエンザ感染患者すべての抗体レベルを個々のサブタイプまで調べた結果、IgG2のレベルが低値であった。妊婦女性についてのみ調べた結果であるが、このIgG2欠損が、ほとんどの人はインフルエンザ症状のみで治癒するが少数例は危険となる理由が説明できる可能性がある。

ID	登録日	承認番号	製剤名	原料名	剤形	製造国	有効成分	有	無	無	修正情報	特許情報	出典	概要
338	2009/11/26	90746	ベネシス	乾燥濃縮人アンチ トロンビンⅢ	人アンチト ロンビンⅢ	人血液	日本						細菌感染 日本細菌学雑誌 2009; 64; 220	90527に同じ
													新型インフル エンザ (H1N1) CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ
													新型インフル エンザ (H1N1) FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
													新型インフル エンザ (H1N1) Science 2009; 10.1126/SCIENCE .1176062	90527に同じ
													リケッチア症 第83回日本感染 症学会総会 2009 April 23-24	90527に同じ
													ウイルス感 染 N Engl J Med 2009; 360; 2099- 2107	90505に同じ
													異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病 HPA 2009 May 22	90527に同じ
													新型インフル エンザ (H1N1) GDC/MMRW 2009; 58: 521-524	90527に同じ
													ウイルス感 染 PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
													異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病 Department of Health 2009 June 5	90527に同じ
													異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病 FDA/TSE advisory committee 2009 June 16	90527に同じ
													アメリカ・トリ パノソーマ症 FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma cruzi Infection in	90527に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	製剤名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文庫	症例	承認使用種別	感染症(PID)	出典	概要
												新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; 773-778	90527に同じ
												パルボウイルス	Transfusion (Malden) 2009; 49; 1488-1492	90527に同じ
												HIV	Nature Medicine 2009; 15; 871-872	90636に同じ
												マラリア	Clinical Infection Deiseases 2009; 49; 852-860	90745に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	The Canadian Press 2009 September 16	90745に同じ
339	2009/11/26	90747	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	人血液	米国	有効成分	有	無	無	細菌感染	日本細菌学雑誌 2009; 64; 220	90527に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	Sience 2009; 10.1126/SCIENCE.1176062	90527に同じ
												リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24	90527に同じ
												ウイルス感染	N Engl J Med 2009; 360; 2099-2107	90505に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA 2009 May 22	90527に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMRW 2009; 58; 521-524	90527に同じ

ID	発症日	発症地	患者数	病原体	病名	宿主	国	有効成分	有	無	無	出典	概要
												ウイルス感染 PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病 Department of Health 2009 June 5	90527に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病 FDA/TSE advisory committee 2009 June 16	90527に同じ
												アメリカ・トリ パノソーマ症 FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma	90527に同じ
												新型インフル エンザ (H1N1) CDC/MMWR 2009; 58; 773- 778	90527に同じ
												パルボウイ ルス Transfusion (Malden) 2009; 49: 1488-1492	90527に同じ
												HIV Nature Medicine 2009; 15; 871-872	90636に同じ
												マラリア Clinical Infection Deiseases 2009; 49; 852-860	90745に同じ
												新型インフル エンザ (H1N1) The Canadian Press 2009 September 16	90745に同じ
340	2009/11/26	90748	ベネシス	乾燥濃縮人血液 凝固第IX因子	血液凝固 第IX因子	人血液	日本	有効成分	有	無	無	細菌感染 日本細菌学雑誌 2009; 64; 220	90527に同じ
												新型インフル エンザ (H1N1) CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ
												新型インフル エンザ (H1N1) FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	製品名	生体成分名	原料地名	原産国	含有成分	有	無	無	無	感染症(中)	出典	概要
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA/TSE advisory committee 2009 June 16	90527に同じ
													アメリカ・トリパノソーマ症	FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma cruzi Infection in	90527に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; 773-778	90527に同じ
													パルボウイルス	Transfusion (Malden) 2009; 49: 1488-1492	90527に同じ
													HIV	Nature Medicine 2009; 15; 871-872	90636に同じ
													マラリア	Clinical Infection Deiseases 2009; 49; 852-860	90745に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	The Canadian Press 2009 September 16	90745に同じ
342	2009/11/26	90750	東レ	-	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物	有	無	無		新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360; 2605-2615	90473に同じ
343	2009/11/26	90751	東レ	-	インターフェロンベータ	ヒト線維芽細胞	日本	有効成分	有	無	無		新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360; 2605-2615	90473に同じ
344	2009/11/26	90752	東レ	-	乳糖水和物	ウシ乳	オランダ、ドイツ、ベルギー及びブルクセンブルク	添加物	無	無	無				

ID	発症日	発症年齢	飼主	種別	臓器	成分	製造国	製造工程	有効成分	動物由来成分	遺伝子組換え	狂犬病	出典	概要
345	2009/11/26	90753	東レ	-	ウシ血清	ウシ血液	オーストラリア及びニュージーランド	製造工程	無	無	無			
346	2009/11/26	90754	東レ	-	トリプシン	ブタ膵臓抽出物	アメリカ合衆国及びカナダ	製造工程	無	無	無			
347	2009/11/27	90755	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	スイス	製造工程	無	無	無			
348	2009/11/27	90756	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	フランス、オーストリア、ドイツ	製造工程	無	無	無			
349	2009/11/27	90757	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
350	2009/11/27	90758	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ膵臓抽出物	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			
351	2009/11/27	90759	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシベプトン	ウシの皮及び骨由来ゼラチン	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			
352	2009/11/27	90760	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシトリプトン	ウシの乳及びブタの膵臓由来酵素	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			
353	2009/11/27	90761	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシTPCK処理トリプシン	ウシの膵臓	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
354	2009/11/27	90762	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ブタカルボキシペプチダーゼ	ブタの膵臓	アメリカ	製造工程	無	無	無			
355	2009/11/27	90763	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	マウスモノクローナル抗体	-	有効成分	無	無	無			
356	2009/11/27	90764	メルクセローノ株式会社	ホリトロピナルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血液	1)マスターセルバンク(米国) 2)ワーキングセルバンク(米国)	製造工程	有	無	無	狂犬病	ProMED-mail 20090418.1470	米国ノースカロライナ州の農場で、2009年4月6～10日の週に仔牛1頭が狂犬病に感染し死亡した。Rowan Countryにおいて2009年5例目の症例である。

ID	発症日	番号	報告者名	施設名	動物由来	原産地名	飼育種	年齢	性別	種別	通正	感染源(PT)	出典	概要
												狂犬病	ProMED-mail 20091001.3415	2009年9月28日、米国コロラド州El Paso Countyでは1匹のマウンテンライオンと1匹のウシが異常行動を示した後安楽死させられ、検査の結果狂犬病に陽性であったと公表した。このライオンとウシの感染源は不明であるが、公衆衛生局はこれまでに8匹のスカンクが狂犬病に陽性であったことから、スカンクとの関連を推測している。また、2009年9月25日、Calhanで狂犬病のウシが安楽死させられた。ウシの農場主およびウシを診察した獣医師とその助手は予防接種を受けていた。獣医師および当局は飼い主にペットへの予防接種を呼びかけている。
												結核	ProMED-mail 20090613.2198	2009年6月11日、ネブラスカ州中央北部で2例のウシ結核(TB)が確認された事を受け、他の31施設、約1万5千頭が検査を受けていると当局は発表し、この作業には月単位の時間がかかるが、その間、検査下にあるウシを移動させないよう要請した。州の農務局は病原動物の由来を特定してはいないが、ヒトがウシTBに感染する機会はほとんどないと述べた。
												結核	ProMED-mail 20090628.2343	インディアナ州で2箇所目のシカ科牧場でメスのエルクが結核(TB)に陽性であった。インディアナ州のBoard of Animal Health(BOAH)が5月にシカ類を調査した陽性結果から明らかとなった。BOAHは関連機関と協力してこの牧場の周辺隣接地域内の野生動物や地域内の牛舎の検査(radius testing)をする計画を立てている。ウシTBは主にウシに感染するが、恒温動物にも伝播する。TBは臨床症状だけでは診断が難しいため、牧場主は家畜の慢性的な痰咳を伴った肺炎などの感染症状に気付いたら獣医師に相談すること。
												炭疽	ProMED-mail 20090804.2750	米国サウスダコタ州において2009年で初めて炭疽症例が確認され、予防接種を受けていない250頭のうち5頭の仔牛が死亡した。炭疽胞子は土壌でいつまでも生き残るために、サウスダコタではアウトブレイクの発生の可能性が高くなっていると当局獣医師は報告した。アルカリ土壌、高温多湿は炭疽胞子を成長させ、草食動物への感染につながる。
												炭疽	ProMED-mail 20090815.2894	米国テキサス州Schleicher郡で牛(Angus Cow)に2009年で初めてとなる炭疽のアウトブレイクが報告された。TVMDL(Texas Veterinary Medical Laboratory)で陽性反応が検出された。
												炭疽	ProMED-mail 20090917.3266	米国North Dakota州南西部で、畜牛の検査において2009年で初めてとなる炭疽陽性結果が報告された。州の獣医師は、症例はHettingerとSlope郡境に沿って報告されており、ここ数年におけるこの地域での最初の確定症例である。また、死亡した家畜を見つけた牧場主は死体を処分する前に獣医師に相談すること。2005年のアウトブレイクの期間、ノースダコタでは500例以上の炭疽による死亡が確認された。

ID	発症日	報告番号	製造会社	原料	細胞株	動物	国	製造工程	有	無	無	感染症(PIT)	出典	概要
357	2009/11/27	90765	メルクセローノ株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	C127細胞株(マウス細胞)	マウス細胞	米国	製造工程	無	無	無			
358	2009/11/27	90766	メルクセローノ株式会社	ホリトロピンアルファ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター細胞株	不明	製造工程	無	無	無			
359	2009/11/27	90767	メルクセローノ株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ臓臓	米国	製造工程	有	無	無	インフルエンザ	CDC/MMWR 2009; 58: 369-374	90588に同じ
												ブルセラ症	CDC/MMWR 2009; 58: 618-621 2009 June 12	90670に同じ
												ブルセラ症	ProMED-mail 20090920.3303	米国テキサス州Tomball出身の76歳男性が2009年初めにブルセラ症と診断された。男性とその息子は野生ブタの狩りをし、1頭を解体したが、ブタの扱いには注意を払い、また常に手袋を着用していた。Huston Chronicle紙は2009年9月17日付けでテキサスの野生ブタの10%はブルセラ菌に陽性と報告したが、州の東部では更に高い割合とされている。
360	2009/11/27	90768	メルクセローノ株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血液	1)マスターセルバンク(不明) 2)ワーキングセルバンク(米国)	製造工程	有	無	無	狂犬病	ProMED-mail 20090418.1470	90764に同じ
												狂犬病	ProMED-mail 20091001.3415	90764に同じ
												結核	ProMED-mail 20090613.2198	90764に同じ
												結核	ProMED-mail 20090628.2343	90764に同じ
												炭疽	ProMED-mail 20090804.2750	090764に同じ
												炭疽	ProMED-mail 20090815.2894	090764に同じ
												炭疽	ProMED-mail 20090917.3266	090764に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	製品名	生物由来 成分	原料地名	原産国	含有 成分	文 種	症 例	遺伝 検査 結果	感染症 (PT)	出典	概要
361	2009/11/27	90769	ワイス	エタネルセプト(遺 伝子組換え)	仔ウシ血 清	ウシ血液	米国	製造 工程	有	無	無	BSE	CFIA 2009 May 15	2009年5月15日、カナダ食品検査局 (CFIA) はアルバータ州の80月齢の乳牛1例がBSE(bovine spongiform encephalopathy)であることを確認した。動物の死体のどの部位もヒト食用もしくは動物飼料の流通に混入していない。この動物の生まれた牧場は特定されており、調査中である。感染動物の月齢や場所はカナダで検出されたこれまでの症例と一貫性がある。カナダはOIE(World Organisation for Animal Health)によってBSEの制御されたリスク国として認められており、今回の例はカナダ産牛や牛肉の輸出に影響は及ぼさない。
362	2009/11/27	90770	ワイス	エタネルセプト(遺 伝子組換え)	ウシトラン スフェリン	ウシ血液	ニュージ ーランド	製造 工程	有	無	無	BSE	CFIA 2009 May 15	90769に同じ
363	2009/11/27	90771	ワイス	エタネルセプト(遺 伝子組換え)	チャイニー ズハムス ター卵巣 細胞	チャイニー ズハムス ター卵巣	不明	製造 工程	無	無	無			
364	2009/11/30	90772	日本ポリオ 研究所	経口生ポリオワク チン	トリブジン	ブタの膵臓	アメリカ・カ ナダ	製造 工程	有	無	無	新型インフル エンザ (H1N1)	CBS News 2009 April 24	カナダ当局は、2009年4月24日、メキシコから送られた51症例のヒト試料をNational Microbiology Laboratoryにて検査した結果、16例がブタインフルエンザに陽性であったと発表した。メキシコではアウトブレイクにより20名が死亡し、1004例が感染しており、WHOは緊急会議を招集する予定である。最近、メキシコから帰国したカナダ人がインフルエンザ様症状を呈した例があるが、ヒトのブタインフルエンザ感染を確認した例はない。
												新型インフル エンザ (H1N1)	CIDRAP News 2009 April 24	2009年4月24日、米国CDCの発表によると、メキシコで死者も出ている呼吸器疾患のアウトブレイクが起きているが、その患者試料は軽症の症状を示した米国患者から分離されたブタインフルエンザと一致した。米国ではブタインフルエンザA/H1N1が確認された症例は8例となり、遺伝子セグメントは4つの異なるインフルエンザタイプから構成されている。また、メキシコで流行しているウイルスは季節性インフルエンザとは異なり健康な若年成人に多く感染しており、ブタインフルエンザA/H1N1はオセルタミビルおよびザナミビルに感受性がある。
												新型インフル エンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58 (Dispatch); 1-3 (2009 April 24)	ブタインフルエンザA(H1N1)ウイルスに感染した追加の6症例について。カリフォルニアのサンディエゴで3例、インペリアルで1例、テキサスのグアダルペで2例報告された。これらの患者から分離されたウイルスはメキシコの患者から分離されたウイルスと同じであった。
												新型インフル エンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ

ID	採集日	番号	報告者名	品名	生物由来 種別	検体名	国名	年齢	性別	症例 番号	遺伝子 検査 結果	感染症 (PT)	出典	概要
												新型インフルエンザ (H1N1)	BBC News 2009 May 24	英国Health Protection Agencyは更に9人のブタインフルエンザ症例が確定され、総計27例であると報告した。H1N1ウイルス感染と診断された5名は7歳の児童で、学校は少なくとも7日間閉鎖される。児童の症状は比較的軽症であり、アウトブレイクの感染源は調査中である。児童と接触のあったヒトは抗ウイルス薬投与がなされている。その他、3校が閉鎖となっていることを含め、英国での新型インフルエンザに関する状況が述べられている。
												新型インフルエンザ (H1N1)	USDA/ARS 2009 May 30	米国のARS (Agricultural Research Service)は2009H1N1インフルエンザウイルスに関する最近の研究結果を公開した。米国産ブタ群が新型ブタ由来(S/O)H1N1インフルエンザウイルスに感染するかを調べる目的で、米国のブタインフルエンザウイルス感染歴のあるブタもしくはワクチンを接種したブタの血清を採取し、検査した結果、新型S/O H1N1インフルエンザウイルスに対する交差性には限界があり、既に米国内で流行しているブタインフルエンザウイルスによって惹起された免疫は現在ヒトの間で流行している新型S/O H1N1インフルエンザウイルスからブタを守ることはないことが示唆された。
												新型インフルエンザ (H1N1)	The New York Times 2009 June 24	新型ブタインフルエンザパンデミックはメキシコの農場で発生した説が一般的だが、federal agricultureはアジアの豚で発生し、人により北米に運ばれたと考えている。しかしそれを証明する方法はなく、また、それを支持するには中途半端なデータのみである。ユーラシアと北米の遺伝子が組み合わさった新型ウイルスが北米の豚で流行した証拠はなく、一方非常に関連のある「姉妹ウイルス」がアジアで流行した証拠がある。
												新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 361; 674- 679	2009年3月24日-4月29日、入院 821例および死亡 100例を含む計 2,155 例の重症肺炎がメキシコ保健省(Mexican Ministry of Health)に報告された。この期間に8,817例の鼻咽頭検体が National Epidemiological Reference Laboratoryに提出され、うち2,582例が S-OIV陽性であった。患者の死亡率と罹患率における年齢の変化を検討する目的で、重症肺炎として報告された患者の年齢分布を最近のインフルエンザ流行期間と比較した。調査期間中、死亡例の87%および重症肺炎症例数の71%が5-59歳の年齢の患者であり、対照期間における同年齢グループではそれぞれ平均 17%、32%であった。今回の流行の特徴は、若年集団に感染する季節性ではない流行を示す新型インフルエンザウイルスが流布している点が過去のインフルエンザパンデミックと似ている。インフルエンザパンデミックの初期には重症肺炎の発症率が急上昇し、そうした病気のある患者の年齢分布に変化があった。これは過去のパンデミックを連想させ、1957年パンデミック以前の小児期に H1N1 株に曝露された人々が今回のパンデミックで相対的に防御されたことを示唆した。

ID	登録日	更新日	種別	製剤名	成分	原料	国	有効成分	有	無	無	無	出典	概要
													Science Daily 2009 July 5	現在のH1N1ブタインフルエンザの発生のルーツは、1918年にアイオワ州で行われた豚の品評会Cedar Rapids Swine Showでブタを発病させた病気にあり、ピッツバーグ大学大学院公衆衛生の感染症の専門家がNew England Journal of Medicineに報告した。H1N1はほぼ1世紀続いており、絶滅した種が偶然復活した過程を経ている。H1N1インフルエンザウイルスはその経てきた歴史を通して伝播の可能性を示しており、また、インフルエンザウイルスの出現と変革の歴史に関する研究は、一般的なパターンを示し、我々が可能な限り準備するために必要な情報となる。
365	2009/12/3	90773	化学及血清療法研究所	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分	有	無	無		CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ
													厚生労働省 新型インフルエンザに関する報道発表資料 2009 May 16	90498に同じ
366	2009/12/3	90774	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有	無	無		Eurosurveillance 2009 April 16; 14(15)	90550に同じ
													Hepatology 2009; 49; S156-165	90717に同じ
													Transfusion 2009 July; 49; 1314-1320	90666に同じ
													Transfusion 2009; 49; 648-654	90717に同じ
													第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55; 245	90550に同じ
													Emerging Infectious Disease 2009; 15; 704-708	90550に同じ
													第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55; 244	90550に同じ
													Pediatrics 2009; 124; 658-666	90550に同じ
													第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24; 314	90550に同じ

ID	発症日	患者名	性別	年齢	職業	居住地	旅行歴	既往歴	検査項目	検査結果	出典	概要
										ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
										インフルエンザ	Virus Res. 2009; 140: 85-90	90550に同じ
										新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360: 2605-2615	90473に同じ
										新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
										新型インフルエンザ (H1N1)	Eurosurveillance 2009; 14: 19244	90550に同じ
										ウイルス感染	日本感染症学会 第83回総会 P224 O-171	90505に同じ
										ウイルス感染	ProMED-mail 20090806.2782	90666に同じ
										ウエストナイルウイルス	CDC (http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount08_detailed.htm)	90550に同じ
										チクングニヤウイルス感	CDC 2009 August 17	90550に同じ
										デング熱	ProMED-mail 20090831.3065	ベトナムハノイ市では、デング熱症例が深刻な増加を示しており、2009年初から8月下旬までに2500症例が報告され、これは2008年の同時期と比べて10倍以上であった。また、ホーチンミン市ではデング熱症例数の急増はないものの、多くの患者が重症化しており、死亡例も多くなっている。同市の第一小児病院は、毎日20-25人がデング熱症例のため来院しており、小児のデング熱症例は、感染後1-2日は手足口病やH1N1インフルエンザとの判別が難しいためデング熱への警戒をゆるめることがあるが、小児は死に至ることがあると注意喚起した。
										HTLV	47 news. 2009 Jun 27	90550に同じ

ID	受通日	番号	報告者名	報告機関	検体	検体部位	検体国	有効成分	有	無	無	真正有用検査	感染症(PT)	出典	概要
													HHV-8感染	Journal of Infectious Disease 2009; 199(11); 1592-1598	90550に同じ
													ボリビア出血熱	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1526-1528 (September 2009)	BHF(Bolivian hemorrhagic fever)は1959年にボリビア東部でのアウトブレイク発生時に初めて報告され、2007年2-3月、ボリビアで少なくとも20例(死亡3例)のBHF疑い例が報告された。2008年2月には少なくとも200例(死亡12例)の疑い例が報告され、19症例の血清を間接免疫蛍光法およびPCRを用いて検査した。その結果、アレナウイルス5株が分離され、ウイルスRNAの遺伝子配列の結果、マチュポウイルスを確認し、8つの主要な系統に分類された。その後も、マチュポウイルスは孤発症例やボリビアでのBHFアウトブレイクの原因となっているが、5例(死亡3例)の農業従事者である患者については、5例ともBHF感染歴のある患者からの血漿成分輸血を受けたが、3例は死亡した。病状が重篤化する前に、マチュポウイルスによって免疫が惹起された血漿を投与することが生存率を高くする。
													細菌感染	日本感染症学会 第83回総会 2009 April 23-24; 224 O-172	90717に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 20090108.0076	90550に同じ
													BSE	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbmonde.htm.)	90550に同じ
													BSE	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbru.htm.)	90550に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMJ 2009 May 21	90550に同じ
367	2009/12/8	90775	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒトの肝臓	日本	有効成分	有	無	無		リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24	90527に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	製品名	原料由来	原料種別	製造国	製造工程	無菌	無熱	無毒素	感染症 (P1)	出典	概要
370	2009/12/8	90778	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	DNase I	ウシの臍臓	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
371	2009/12/8	90779	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウサギ抗ヒト血清アルブミン抗体	ウサギの血液	日本	製造工程	無	無	無			
372	2009/12/8	90780	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	マウス抗HBsモノクローナル抗体	マウスの血液	日本	製造工程	無	無	無			
373	2009/12/8	90781	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	トリプシン	ブタの臍臓	アメリカ	製造工程	有	無	無	インフルエンザ	ProMED-mail 20090502.1653(出典はCFIA News Release 2009 May 2)	90507に同じ
374	2009/12/8	90782	ワイス	ゲムツズマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程	無	無	無			
375	2009/12/8	90783	ワイス	ゲムツズマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	ヒトγグロブリン	ヒト血液	フィンランド、スウェーデン	製造工程	無	無	無			
376	2009/12/8	90784	ワイス	ゲムツズマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA 2009 May 15	90769に同じ
377	2009/12/8	90785	ワイス	ゲムツズマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	ペプトン	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA 2009 May 15	90769に同じ
378	2009/12/8	90786	ワイス	ゲムツズマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	加水分解カゼイン	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA 2009 May 15	90769に同じ
379	2009/12/8	90787	ワイス	ゲムツズマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	ニュージーランド、米国	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA 2009 May 15	90769に同じ
380	2009/12/8	90788	ワイス	ゲムツズマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA 2009 May 15	90769に同じ

ID	発出日	番号	種別	遺伝子組換え	原料	産地	製造工程	有	無	無	遺伝子組換え	出典	概要
381	2009/12/8	90789	ワイス	ゲムツスマブオゾ ガマイシン(遺伝子 組換え)	コレステ ロール	ヒツジ毛	オーストラ リア、ニュー ジーランド	製造 工程	有	無	無	BSE MAF 2009 October 28	22009年10月28日、MAFBNZ(MAF(Ministry of Agriculture and Forestry) Biosecurity New Zealand)およびNZFSA(New Zealand Food Safety Authority)は、ニュージーランドおよびヨーロッパの研究所が行った1頭のニュージーランド産ヒツジの脳における一連の検査の結果、非定型スクレイピー/Nor98を検出した、と発表した。非定型スクレイピー/Nor98は古典型スクレイピーとは全く異なり、非定型スクレイピー/Nor98もスクレイピーもヒトの健康や肉・肉製品を食べることの安全性にどのようなリスクを及ぼすか不明であるが、広く受け入れられている科学的見解は、非定型スクレイピー/Nor98は世界中のヒツジ集団において極少数の高齢羊に自然発生的に起こるとしている。非定型スクレイピー/Nor98陽性がニュージーランドの国産群由来の羊に検出されたことは、この見解を強調し、今回の検出がスクレイピーなしとするニュージーランドの状況を変えることはない。感染のあった脳は、ヨーロッパ連合(EU)に送られた200の委託のうちの一つで、ヨーロッパ輸送前にEU認可のテストがニュージーランド国内で行われたが、何事もなかった。しかし、ヨーロッパで更にテストされ、ニュージーランドで脳の異なる部分を再試験した結果、非定型スクレイピー/Nor98と診断された。NZFSAは、UK Food Standards Agencyが助言したラムやマトンもしくはこれらの動物由来製品を食肉とするのを辞める理由はない、との発言に同意する。
382	2009/12/8	90790	ワイス	ゲムツスマブオゾ ガマイシン(遺伝子 組換え)	マウス骨 髄腫由来 NSO細胞	マウス骨髄 腫	不明	製造 工程	無	無	無		
383	2009/12/9	90791	ジェンザイ ム・ジャパン	イミグルセラージェ (遺伝子組換え)	ウシ胎仔 血清	ウシ胎仔血 液	米国、カナ ダ	製造 工程	無	無	無		
384	2009/12/9	90792	ジェンザイ ム・ジャパン	イミグルセラージェ (遺伝子組換え)	ドナー仔牛 血清	ドナー仔牛 血液	ニュージ ーランド	製造 工程	無	無	無		

ID	受理日	番号	報告者名	製造者名	原料名	原料種別	製造国	製造工程	有効成分	無	無	無	感染症(P/F)	出典	概要
385	2009/12/9	90793	ジェンザイム・ジャパン	イミグルセラゼ(遺伝子組換え)	イミグルセラゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞	宿主細胞系は、Dr.L.A.Chasin(Columbia University)より入手したジヒドロ葉酸還元酵素(DHFR)欠損チャイニーズハムスター卵巣細胞(CHO)細胞系である	有効成分	無	無	無				
386	2009/12/9	90794	ジェンザイム・ジャパン	ラロニダーゼ(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ脾臓	米国・カナダ	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 2009:		22009年6月29日、ケニアでパンデミックH1N1感染の初症例が確認された。当時、サハラアフリカでは4カ国のみが症例を報告しており、この地域での二次感染はなかった。ケニアでのサーベイランスの結果、国内へウイルスを持込んだ4つの個別グループを見つけた。この輸入感染は、抗ウイルス薬の使用がまだ始まっておらず、ウイルス感染の少ない集団において、ウイルス伝播を研究するよい機会であるため、この4グループの輸入感染状況についてまとめた。また、H1N1確定症例の家族間二次感染の割合は26%となり、季節性インフルエンザの場合と同程度であった。
387	2009/12/9	90795	ジェンザイム・ジャパン	ラロニダーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血液	米国、カナダ、メキシコ、ニュージーランド	製造工程	無	無	無				
388	2009/12/9	90796	ジェンザイム・ジャパン	ラロニダーゼ(遺伝子組換え)	ラロニダーゼ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	宿主細胞系は、DonaldWiley(UCSD大学)及びJames paulson(UCLA大学)より入手したジヒドロ葉酸還元酵素(DHFR)欠損チャイニーズハムスター卵巣細胞(CHO)細胞系である	有効成分	無	無	無				
389	2009/12/15	90797	サノフィパスツール第一三共ワクチン	黄熱ワクチン	発育鶏胚	発育鶏卵	米国	製造工程	無	無	無				
390	2009/12/15	90798	バイオジェン・アイデック・ジャパン	インターフェロンベータ-1a(遺伝子組換え)	ウシトランスフェリン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA 2009 May 15	90769に同じ	
391	2009/12/15	90799	バイオジェン・アイデック・ジャパン	インターフェロンベータ-1a(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ脾臓抽出物	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA 2009 May 15	90769に同じ	
392	2009/12/15	90800	バイオジェン・アイデック・ジャパン	インターフェロンベータ-1a(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血液	米国	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA 2009 May 15	90769に同じ	

ID	登録日	承認番号	製法	成分名	生物由来	原材料名	原産国	有効成分	有	無	無	修正 成分	有効成分(P/C)	出典	概要
398	2009/12/17	90806	バクスター	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	無	有	無				
399	2009/12/18	90807	化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理人免疫グロブリンG分層	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	厚生労働省 新型インフルエンザに関する報道発表資料 2009 May 16	90498に同じ	
400	2009/12/18	90808	化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国、日本	有効成分	無	無	無				
401	2009/12/18	90809	化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物・製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	厚生労働省 新型インフルエンザに関する報道発表資料 2009 May 16	90498に同じ	
402	2009/12/18	90810	日本赤十字社	人全血液	人全血液	人血液	日本	有効成分	有	無	無	A型肝炎	Eurosurveillance 2009 April 16; 14(15)	90550に同じ	
												B型肝炎	Hepatology 2009; 49; S156-165	90717に同じ	
												B型肝炎	Transfusion 2009 July; 49; 1314-1320	90666に同じ	
												B型肝炎	日本肝臓学会大会第13回 2009; A536 (2009 October 14-15)	輸血後検査におけるHBV陽性例の発生状況とその原因について全国調査を行った。2007年1-12月の輸血後検査におけるHBVDNAまたはHBs抗原陽性例経験の有無を問い、有経験施設には個別調査を行った結果、輸血後HBV陽性例の経験施設(37)のうち18施設が37症例を回答した。輸血前(保管)検体の検査結果と献血者保管検体の個別NAT検査の成績を元に、既感染例、輸血感染例、再活性化例、その他、分類不能の5分類に該当する症例は、それぞれ19、4、6、0、8例であり、輸血を要する治療を行った患者にHBV活性化が存在することが判明した。輸血によるHBV伝播とHBV再活性化の鑑別には、輸血前のHBs・HBc抗体検査が輸血前検体保管が必要である。	
												B・C型肝炎	Transfusion 2009; 49; 648-654	90717に同じ	
												感染症	第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55; 245	90550に同じ	

ID	発症日	年齢	性別	職業	国籍	居住地	滞在国	滞在期間	発症場所	診断施設	検査項目	結果	概要
											E型肝炎	Emerging Infectious Disease 2009; 15 :704-708	90550に同じ
											E型肝炎	第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55: 244	90550に同じ
											HIV	Pediatrics 2009; 124; 658-666	90550に同じ
											HIV	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24; 314	90550に同じ
											HIV	Nature Medicine 2009; 15; 871-872	90636に同じ
											HIV	FDA/CBER 2009 August Guidance for Industry	90774に同じ
											Q熱	Eurosurveillance 2009; 14(19); 2009 May 14	90717に同じ
											アメリカトリパノソーマ症	日本感染症学会第58回東日本地方会 2009; 124 041 (2009 October 30-31)	近年、各地医療機関から依頼のあった在日ラテンアメリカ人疾患患者41名についてジャーガス病原体Trypanosoma cruzi(T.cruzi)血清抗体検査を行った結果、15名が明らかに陽性を示し、ジャーガス病が示唆された。更に抗体陽性者血液からT.cruzi-DNAを検出し、また、血液培養の結果2名からT.cruzi虫体を分離した。慢性の病原体キャリアーが日本に存在することが明らかとなったが、媒介昆虫の存在しない国内において感染経路は二次感染であるため、事前の抗体検査で防ぐことが出来る。
											ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
											新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360; 2605-2615	90473に同じ
											新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	品名	検査方法	検体名	検出期間	検出地	検出施設	検出者	検出時期	検出場所	検出状況	検出結果	出典	概要
														新型インフルエンザ (H1N1)	Eurosurveillance 2009; 14; 19244	90550に同じ
														ウイルス感染	日本感染症学会 第83回総会 P224 O-171	90505に同じ
														ウイルス感染	ProMED-mail 20090806.2782	90666に同じ
														ウイルス性脳炎	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1671-1672 (October 2009)	2008年7月、オーストリア東部の山岳地帯で6例が感染したTBE (Tick-born encephalitis) アウトブレイクの調査が行われた。初発患者の羊飼いは、高山牧場に24日間滞在後、髄膜炎の臨床症状を呈し、TBEV (TBE virus)感染陽性と確定された。患者はダニに咬合された記憶はなく、発症8-11日前に非殺菌のヤギ乳および牛乳から製造された自家製チーズを食べていた。同じチーズを食べた6名中5名がTBE感染と診断され、非感染であった1例はチーズを食べた直後嘔吐していた。チーズはヤギ1頭およびウシ3頭の乳から製造されたが、そのヤギはHIおよび中和抗体検査でTBEV陽性であり、ウシ3頭は抗体陰性であった。また、ホエイおよびヤギ乳を与えられ、同じ牧草で飼育されていたブタ4頭がTBEV抗体陽性を示した。このアウトブレイクは、中央ヨーロッパ高地におけるTBEの振興と、TBE経口感染の高い効率性を示した。
														ウエストナイルウイルス	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1668-1670 (October 2009)	WNV(West Nile virus)感染状況と2003-2008年に供給された米国製血漿由来静注用免疫グロブリン製剤(IGIV)における中和抗体価の関係が調査された。WNVは1999年に米国に持ち込まれたが、2003年にIGIVのWNV中和抗体平均値が顕著に上昇し、米国人口の0.5%がWNVに感染したと推定された。また、米国の人口における既感染者の割合は、毎年0.1%増加し、IGIVの中和抗体価平均値と概ね相関があった。2008年に出荷されたIGIVの中央抗体価は平均21(n=258)であり、NTAでWNT感染を確定したヒトから得られた血漿では更に高い抗体価(平均208(n=30))であった。血漿中IgG濃度を補正し、IGIV調整濃度10%と比較すると血漿試料はIGIVより100倍高値であった。この結果は、WNV既感染者は米国人口の1%であると推定したこれまでの報告と一致した。
														チクングニヤウイルス感	CDC 2009 August 17	90550に同じ

ID	発症日	年齢	性別	職業	国籍	滞在国	滞在期間	発症場所	発症時期	病原体	出典	概要
										チクングニヤウイルス感染	日本感染症学会第58回東日本地方会 2009; 124-041 (2009 October 30-31)	2009年5-6月、東南アジアから帰国後関節痛を主訴に来院した3例はチクングニヤウイルスIgM抗体および中和抗体陽性であり、血清学的にCHIKF(Chikungunya fever)と診断された。3例はそれぞれインドネシア・スマトラ島、インドネシア・ジャワ島もしくはマレーシア・クアラルンプール郊外に渡航し、いずれも現地で発熱および関節痛が出現した。解熱したが帰国後も関節痛は持続し、受診に至った。
										デング熱	ProMED-mail 20090831.3065	90774に同じ
										HTLV	47 news. 2009 Jun 27	90550に同じ
										ウイルス感染	Journal of General of Virology 2009; 90; 2644-2649	1996年、インドケララ州で発生した脳炎アウトブレイクの調査において、蚊(Culex tritaeniorhynchus)のプールからアルボウイルスが分離された。補体結合検査より日本脳炎とウエストナイルウイルスに交差反応を示すアルボウイルスの特徴が示され、アルボウイルス分離株に対する過免疫血清を使用したプラーク減少-中和反応検査の結果、血清は日本脳炎ウイルスでは陽性を示さず、ウエストナイルウイルスで弱陽性であった。このアルボウイルスはバガサウイルス(BAGV)の特徴を示し、脳炎患者の血清は15%(8/53)がBAGV中和抗体陽性を示した。インドからの初のBAGV分離の報告であり、また、人間集団がBAGVに曝露されていることが示唆された。
										HHV-8感染	Journal of Infectious Disease 2009; 199(11); 1592-1598	90550に同じ
										ポリビア出血熱	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1526-1528 (September 2009)	90774に同じ
										細菌感染	日本感染症学会第83回総会 2009 April 23-24; 2240-172	90717に同じ

ID	受理日	届番号	届名	献血者名	血液成分	成分名	産産国	含有成分	有効成分	有	有	無	感染症(PT)	出典	概要
													レトロウイルス(XMRV)	Siencie 2009; 326; 585-588	CFS(Chronic Fatigue Syndrome)患者の血液細胞に感染性レトロウイルスXMRV(xenotropic murine leukemia virus-related virus)を検出した。CFSは原因不明の衰弱していく疾患で、世界中で1700万人が罹患していると推定されている。CFS患者の末梢血単核球を調べた結果、ヒトgammaretrovirusであるXMRVのDNAが、患者101例中68例(67%)に検出され、健康対照者では218例中8例(3.7%)であった。細胞培養の結果、患者由来のXMRVは感染性があり、ウイルスの細胞を介したおよび無細胞性感染のいずれも可能性が示された。CFS患者由来の活性化PBMC、B細胞、T細胞に曝露した後、非感染初代培養リンパ球および指標細胞培養系には二次感染が認められた。これらの結果は、XMRVがCFSの病原性における要因となる可能性を示唆した。
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMJ 2009 May 21	90550に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009 June 5	90527に同じ
403	2009/12/18	90811	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有	有	無	A型肝炎	Eurosurveillance 2009 April 16; 14(15)	90550に同じ	
													B型肝炎	Hepatology 2009; 49; S156-165	90717に同じ
													B型肝炎	Transfusion 2009 July; 49; 1314-1320	90666に同じ
													B型肝炎	日本肝臓学会大会第13回 2009; A536 (2009 October 14-15)	90810に同じ
													B・C型肝炎	Transfusion 2009; 49; 648-654	90717に同じ
													感染症	第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55; 245	90550に同じ
													E型肝炎	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 704-708	90550に同じ
													E型肝炎	第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55; 244	90550に同じ

ID	学題名	著者	報告者名	施設名	生体組織	開始年月	終了年月	年齢	性別	種別	修正 補正 備考	検出法 (PT)	出典	概要
												ウイルス性 脳炎	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1671- 1672 (October 2009)	90810に同じ
												ウエストナイ ルウイルス	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1668- 1670 (October 2009)	90810に同じ
												チクングニヤ ウイルス感 染	CDC 2009 August 17	90550に同じ
												チクングニヤ ウイルス感 染	日本感染症学会 第58回東日本地 方会 2009; 124 041 (2009 October 30-31)	90810に同じ
												デング熱	ProMED-mail 20090831.3065	90774に同じ
												HTLV	47 news. 2009 Jun 27	90550に同じ
												ウイルス感 染	Journal of General of Virology 2009; 90; 2644-2649	90810に同じ
												HHV-8感染	Journal of Infectious Disease 2009; 199(11); 1592-1598	90550に同じ
												ボリビア出血 熱	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1526- 1528 (September 2009)	90774に同じ
												細菌感染	日本感染症学会 第83回総会 2009 April 23-24; 224 O-172	90717に同じ
												レトロウイル ス(XMRV)	Science 2009; 326; 585-588	90810に同じ

ID	登録日	登録番号	製薬会社	商品名	成分	剤形	国産	有効成分	有	無	無	出典	概要	
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMJ 2009 May 21	90550に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009 June 5	90527に同じ
404	2009/12/18	90812	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液	洗浄人赤血球浮遊液	人血液	日本	有効成分	有	無	無	A型肝炎	Eurosurveillance 2009 April 16; 14(15)	90550に同じ
												B型肝炎	Hepatology 2009; 49: S156-165	90717に同じ
												B型肝炎	Transfusion 2009 July; 49: 1314-1320	90666に同じ
												B型肝炎	日本肝臓学会大会第13回 2009; A536 (2009 October 14-15)	90810に同じ
												B・C型肝炎	Transfusion 2009; 49: 648-654	90717に同じ
												感染症	第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55: 245	90550に同じ
												E型肝炎	Emerging Infectious Disease 2009; 15: 704-708	90550に同じ
												E型肝炎	第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55: 244	90550に同じ
												HIV	Pediatrics 2009; 124: 658-666	90550に同じ
												HIV	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24; 314	90550に同じ
												HIV	Nature Medicine 2009; 15: 871-872	90636に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	性別	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												HIV	FDA/CBER 2009 August Guidance for Industry	90774に同じ
												Q熱	Eurosurveillance 2009; 14(19); 2009 May 14	90717に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	日本感染症学会第58回東日本地方会 2009; 124 041 (2009 October 30-31)	90810に同じ
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360: 2605-2615	90473に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	Eurosurveillance 2009; 14; 19244	90550に同じ
												ウイルス感染	日本感染症学会第83回総会 P224 O-171	90505に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail 20090806.2782	90666に同じ
												ウイルス性脳炎	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1671-1672 (October 2009)	90810に同じ
												ウエストナイルウイルス	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1668-1670 (October 2009)	90810に同じ

ID	発症日	発症年齢	発症場所	発症経路	感染経路	感染源	感染国	有効成分	有	無	無	無	感染症(PCR)	出典	概要
													チクングニヤウイルス感染	CDC 2009 August 17	90550に同じ
													チクングニヤウイルス感染	日本感染症学会第58回東日本地方会 2009; 124 041 (2009 October 30-31)	90810に同じ
													デング熱	ProMED-mail 20090831.3065	90774に同じ
													HTLV	47 news. 2009 Jun 27	90550に同じ
													ウイルス感染	Journal of General of Virology 2009; 90; 2644-2649	90810に同じ
													HHV-8感染	Journal of Infectious Disease 2009; 199(11); 1592-1598	90550に同じ
													ポリビア出血熱	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1526-1528 (September 2009)	90774に同じ
													細菌感染	日本感染症学会第83回総会 2009 April 23-24; 224 0-172	90717に同じ
													レトロウイルス(XMRV)	Science 2009; 326; 585-588	90810に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMJ 2009 May 21	90550に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009 June 5	90527に同じ
405	2009/12/18	90813	日本赤十字社	(製造販売承認書に記載なし)	合成血	人血液	日本	有効成分	有	無	無		A型肝炎	Eurosurveillance 2009 April 16; 14(15)	90550に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	施設名	生体由来 製剤名	原産国	製造 会社	文 献	症 例	修正 使用 推奨	感染症 (P1)	出典	概要
											B型肝炎	Hepatology 2009; 49: S156-165	90717に同じ
											B型肝炎	Transfusion 2009 July; 49: 1314- 1320	90666に同じ
											B型肝炎	日本肝臓学会大 会第13回 2009; A536 (2009 October 14-15)	90810に同じ
											B・C型肝炎	Transfusion 2009; 49: 648-654	90717に同じ
											感染症	第57回日本輸血・ 細胞治療学会 2009; 55: 245	90550に同じ
											E型肝炎	Emerging Infectious Disease 2009; 15 :704-708	90550に同じ
											E型肝炎	第57回日本輸血・ 細胞治療学会 2009; 55: 244	90550に同じ
											HIV	Pediatrics 2009; 124: 658-666	90550に同じ
											HIV	第83回日本感染 症学会総会 2009 April 23-24; 314	90550に同じ
											HIV	Nature Medicine 2009; 15: 871-872	90636に同じ
											HIV	FDA/CBER 2009 August Guidance for Industry	90774に同じ
											Q熱	Eurosurveillance 2009; 14(19); 2009 May 14	90717に同じ
											アメリカ・トリ パノソーマ症	日本感染症学会 第58回東日本地 方会 2009; 124 041 (2009 October 30-31)	90810に同じ

ID	分類	種別	国名	地域	年次	学術機関	報告者	報告種別	報告内容	発表者	発表場所	発表日	備考
									ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455		90527に同じ	
									新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360; 2605-2615		90473に同じ	
									新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30		90523に同じ	
									新型インフルエンザ (H1N1)	Eurosurveillance 2009; 14; 19244		90550に同じ	
									ウイルス感染	日本感染症学会 第83回総会 P224 O-171		90505に同じ	
									ウイルス感染	ProMED-mail 20090806.2782		90666に同じ	
									ウイルス性脳炎	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1671-1672 (October 2009)		90810に同じ	
									ウエストナイルウイルス	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1668-1670 (October 2009)		90810に同じ	
									チクングニヤウイルス感染	CDC 2009 August 17		90550に同じ	
									チクングニヤウイルス感染	日本感染症学会 第58回東日本地方会 2009; 124 041 (2009 October 30-31)		90810に同じ	
									デング熱	ProMED-mail 20090831.3065		90774に同じ	
									HTLV	47 news. 2009 Jun 27		90550に同じ	

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料種名	原産国	有効成分	有	無	無	不正成分	感染症(IST)	出典	概要
													ウイルス感染	Journal of General of Virology 2009; 90: 2644-2649	90810に同じ
													HHV-8感染	Journal of Infectious Disease 2009; 199(11); 1592-1598	90550に同じ
													ポリビア出血熱	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1526-1528 (September 2009)	90774に同じ
													細菌感染	日本感染症学会第83回総会 2009 April 23-24; 224 O-172	90717に同じ
													レトロウイルス(XMRV)	Science 2009; 326; 585-588	90810に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMJ 2009 May 21	90550に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009 June 5	90527に同じ
406	2009/12/18	90814	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有	無	無		A型肝炎	Eurosurveillance 2009 April 16; 14(15)	90550に同じ
													B型肝炎	Transfusion 2009 July; 49; 1314-1320	90666に同じ
													B型肝炎	日本肝臓学会大会第13回 2009; A536 (2009 October 14-15)	90810に同じ
													感染症	第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55; 245	90550に同じ
													E型肝炎	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 704-708	90550に同じ

										論文名/ID	出典	概要
										E型肝炎	第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55; 244	90550に同じ
										HIV	Pediatrics 2009; 124; 658-666	90550に同じ
										HIV	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24; 314	90550に同じ
										HIV	Nature Medicine 2009; 15; 871-872	90636に同じ
										HIV	FDA/CBER 2009 August Guidance for Industry	90774に同じ
										ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4; e1000455	90527に同じ
										新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360; 2605- 2615	90473に同じ
										新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
										新型インフルエンザ (H1N1)	Eurosurveillance 2009; 14; 19244	90550に同じ
										ウイルス感染	日本感染症学会 第83回総会 P224 O-171	90505に同じ
										ウイルス感染	ProMED-mail 20090806.2782	90666に同じ
										ウイルス性 脳炎	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1671- 1672 (October 2009)	90810に同じ

品名	承認年月	承認番号	製剤名	成分名	原料名	製造国	有効成分	有害成分	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	出典	概要	
									異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009 June 5	90527に同じ	
									異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA/CBER 2009 September 7	FDAのCBERは、米国承認血漿由来第VIII因子製品(pdFVIII)によるvCJD(variant Creutzfeldt-Jakob disease)リスクの可能性についての概要を公表し、要点として以下が示された。 ○近年、米国承認pdFVIII製品を投与された血友病Aおよびvon Willebrand病患者にvCJDが発病するリスクに関して疑問が提起されている。 ○リスク評価の結果、FDA、CDCおよびNIHも含めて米国PHS (Public Health Service)は、米国承認pdFVIII製品を投与された血友病Aおよびvon Willebrand病患者へのvCJDリスクは、はっきりとは分からないが、極めて小さい可能性が最も考えられる。第IX因子を含めた他の血漿由来製品によるvCJDリスクは同程度小さいもしくはより小さい可能性が最も考えられる。 ○新しい情報を得るには、Hemophilia Treatment Centerの血友病もしくはvon Willebrandにおける専門家に尋ねること。	
407	2009/12/22	90815	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Alternaria kikuchiana	-	有効成分	無	無	無	
408	2009/12/22	90816	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans	-	有効成分	無	無	無	
409	2009/12/22	90817	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans	-	有効成分	無	無	無	
410	2009/12/22	90818	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Aspergillus fumigatus	-	有効成分	無	無	無	
411	2009/12/22	90819	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans	-	有効成分	無	無	無	
412	2009/12/22	90820	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans	-	有効成分	無	無	無	
413	2009/12/22	90821	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Cladosporium cladosporioides	-	有効成分	無	無	無	
414	2009/12/22	90822	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Penicillium luteum	-	有効成分	無	無	無	
415	2009/12/22	90823	富士製薬工業	精製下垂体性性腺刺激ホルモン	精製下垂体性性腺刺激ホルモン	更年期婦人の尿抽出物	中国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病 Emerg Infect Dis. 2008; 14; 1406-1412 90562に同じ

ID	登録日	番号	報告者名	一般名	学術名称 (学名)	原料名	原産国	有効成分	有	無	無	無	感染症 (PT)	出典	概要
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology 2007; 88: 2890-2898	90562 に同じ
416	2009/12/22	90824	富士製薬工業	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	更年期婦人の尿抽出物	中国	有効成分	有	無	無		異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis. 2008; 14: 1406-1412	90562 に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology 2007; 88: 2890-2898	90562 に同じ
417	2009/12/22	90825	ベネシス	ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	人血液	米国	有効成分	有	無	無		新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523 に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	Science 2009; 10.1126/SCIENCE.1176062	90527 に同じ
													リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24	90527 に同じ
													ウイルス感染	N Engl J Med 2009; 360: 2099-2107	90505 に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA 2009 May 22	90527 に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMRW 2009; 58: 521-524	90527 に同じ
													ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527 に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009 June 5	90527 に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA/TSE advisory committee 2009 June 16	90527 に同じ

種別	国名	年次	疾病名	出典	概要
			アメリカ・トリパノソーマ症	FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma	90527に同じ
			新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; 773-778	90527に同じ
			バルボウイルス	Transfusion (Malden) 2009; 49: 1488-1492	90527に同じ
			HIV	Nature Medicine 2009; 15; 871-872	90636に同じ
			マラリア	Clinical Infection Diseases 2009; 49; 852-860	90745に同じ
			新型インフルエンザ(H1N1)	The Canadian Press 2009 September 16	90745に同じ
			BSE	PLoS ONE 2009; 4; E6175	魚類におけるTSE(transmissible spongiform encephalopathies)発症についての知見を得るため、gilthead sea bream(sparus aurata:ヨーロッパヘダイ)にBSE感染ウシもしくはスクレイピー感染ヒツジのホモジネートを経口投与した。魚に臨床症状は現れなかったが、投与2年後、魚の脳は神経変性の徴候と抗タイPrP抗体に陽性を示す沈着物の蓄積が認められた。非感染動物由来の脳を投与された対照群はこのような徴候はなかった。TSE感染脳よりもBSE感染脳投与された魚に多数のプロテアーゼK抵抗性沈着物が急速に現れ、アミロイド様成分と一致した。公衆衛生上の潜在的なリスクの懸念が高まる。
			インフルエンザ	日本ウイルス学会第57回学術集会 1P074	日本で採血された血漿を原料として製造された静注用グロブリン製剤(IVIG)にClassical Swine Influenza A(H1N1) virusおよびInfluenza A(H1N1) pdm virusに反応する抗体が含まれているか調べ、ドナーが免疫を獲得している可能性について検討した。その結果、IVIGにブタおよび新型ウイルスに対するHIおよびNT活性がそれぞれ8倍、64倍と認められ、日本において、ある程度の率でInfluenza A(H1N1) pdm virusに反応する抗体を保有するドナーが存在すると推測された。

ID	発注日	発注番号	発注先	剤名	成分	製剤	原産国	添加物	有	無	無	出典	概要
418	2009/12/22	90826	ペネシス	ウロキナーゼ注射剤	人血清アルブミン	人血液	日本	添加物	有	無	無	新型インフルエンザ (H1N1) FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1) Science 2009; 10.1126/SCIENCE.1176062	90527に同じ
												リケッチア症 第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24	90527に同じ
												ウイルス感染 N Engl J Med 2009; 360: 2099-2107	90505に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病 HPA 2009 May 22	90527に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1) CDC/MMRW 2009; 58: 521-524	90527に同じ
												ウイルス感染 PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病 Department of Health 2009 June 5	90527に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病 FDA/TSE advisory committee 2009 June 16	90527に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症 FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma cruzi Infection in	90527に同じ

ID	登録日	承認番号	申請者	製造者	原料	成分	製造工程	無菌	無菌	無菌	出典	概要	
											新型インフル エンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; 773- 778	90527に同じ
											バルボウイ ルス	Transfusion (Malden) 2009; 49; 1488-1492	90527に同じ
											HIV	Nature Medicine 2009; 15; 871-872	90636に同じ
											マラリア	Clinical Infection Deiseases 2009; 49; 852-860	90745に同じ
											新型インフル エンザ (H1N1)	The Canadian Press 2009 September 16	90745に同じ
											BSE	PLoS ONE 2009; 4; E6175	90825に同じ
											新型インフル エンザ (H1N1)	日本ウイルス学会 第57回学術集会 1P074	90825に同じ
419	2009/12/24	90827	シェリング・ プラウ	フォリトロピンベ ータ(遺伝子組換え)	ウシ胎児 血清	ウシ胎児血 液	ニュージ ーランド、オ ーストラリア	製造 工程	無	無	無		
420	2009/12/24	90828	シェリング・ プラウ	フォリトロピンベ ータ(遺伝子組換え)	ウシトラン スフェリン	ウシ血液	ニュージ ーランド、オ ーストラリア	製造 工程	無	無	無		
421	2009/12/24	90829	シェリング・ プラウ	フォリトロピンベ ータ(遺伝子組換え)	チャイニ ーズハムス ター卵巣 細胞	チャイニ ーズハムス ター卵巣細 胞	原産国不明 (ATCC登録 株)	製造 工程	無	無	無		
422	2009/12/24	90830	佐藤製薬株 式会社	ヒトチロトロピン アルファ(遺伝子組 換え)	ウシ胎児 血清、ウシ 血清	ウシ血液	アメリカ、 ニュージ ーランド	製造 工程	無	無	無		
423	2009/12/24	90831	佐藤製薬株 式会社	ヒトチロトロピン アルファ(遺伝子組 換え)	ヒトチロト ロピン アル ファ(遺伝 子組換え)	チャイニ ーズハムス ター卵巣細 胞	不明	有効 成分	無	無	無		

ID	受理日	番号	報告者名	遺伝子組換え品名	原料	原料の産地	製造工程	無	無	無	製造工程	無	無	無	概要
424	2009/12/24	90832	佐藤製薬株式会社	ヒトチロロピンアルファ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ	アメリカ	製造工程	無	無	無				
425	2009/12/24	90833	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	パンクレアチン	ブタの膵臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無				
426	2009/12/24	90834	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	フェツイン	ウシの血清	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無				
427	2009/12/24	90835	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプトン	ウマの脾臓、豚、ウシの心臓、脾臓及びブタのラード ウオーターをブタのパンクレアチン及びペプシンで処理したもの	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無				
428	2009/12/24	90836	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	D-ガラクトース	ウシの乳汁	米国	製造工程	無	無	無				
429	2009/12/24	90837	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血清	米国	製造工程	無	無	無				
430	2009/12/24	90838	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプシン	ブタの胃液	米国、カナダ	製造工程	無	無	無				
431	2009/12/24	90839	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ラード ウオーター	ブタ	米国、カナダ	製造工程	無	無	無				
432	2009/12/25	90840	協和醗酵キリン	アルテブラーゼ(遺伝子組換え) エポエチナルファ(遺伝子組換え) ダルベポエチナルファ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	米国	製造工程	無	無	無				
433	2009/12/25	90841	協和醗酵キリン	アルテブラーゼ(遺伝子組換え) エポエチナルファ(遺伝子組換え) ダルベポエチナルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無				
434	2009/12/25	90842	協和醗酵キリン	アルテブラーゼ(遺伝子組換え)	ペプトン	ウシの胆汁、結合組織、皮膚、骨(頭蓋骨、せき髄を含まない。せき柱骨を含む可能性がある。)に由来するペプトン	米国、カナダ	製造工程	無	無	無				

ID	承認日	承認番号	申請者	成分	原料	製造国	製造工程	動物由来成分	遺伝子組換え	病原体	感染症(PT)	出典	概要
435	2009/12/25	90843	協和醗酵キリン	ダルベポエチンアルファ(遺伝子組換え)	乳糖	ウシ乳由来の乳糖	米国、カナダ	製造工程	無	無	無		
436	2009/12/25	90844	協和醗酵キリン	エボエチンアルファ(遺伝子組換え) ダルベポエチンアルファ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓由来トリプシン	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	ブルセラ症 CDC/MMWR 2009; 58; 618-621 2009 June 12	90670に同じ
												インフルエンザ ProMED-mail 20090808.2812 (出典はKATE10, ABC news)	90588に同じ
												ブルセラ症 ProMED-mail 20090920.3303	90767に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1) WHO 2009 November 20	WHOはパンデミック(H1N1)2009の最新情報を週毎に更新し、2009年11月15日現在、WHOには206を超える国からパンデミックインフルエンザ(H1N1)2009の確定症例の報告があり、死亡例は6,660を超えている。感染状況は、北半球の温暖地域では冬季インフルエンザが早期に到来し、北アメリカおよびヨーロッパの多くの国で増大が続いているが、北半球のある地域では疾病の活動期がピークを迎えている兆しがある。その他、感染状況につき、米国、ヨーロッパ、中央および西アジア、東アジアおよびアメリカおよびアジアの熱帯地域について報告された。なお、南半球の温暖地域ではほとんど報告はない。
437	2009/12/28	90845	川崎製薬	ヒト絨毛性腺刺激ホルモン	ヒト絨毛性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無		
438	2009/12/28	90846	田辺三菱製薬株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)注射剤	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無		
439	2009/12/28	90847	田辺三菱製薬株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)注射剤	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	米国	製造工程	無	無	無		
440	2009/12/28	90848	田辺三菱製薬株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)注射剤	ペプトン	ウシの胆汁、結合組織、皮膚、骨(頭蓋骨、せき髄を含まない。せき髄骨を含む可能性がある。)に由来するペプトン	米国、カナダ	製造工程	無	無	無		